

時間割コード	G1D11329	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B)					担当教員	兼元 美友
英文授業名	Academic English Phase I (B)						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	再履修生（1年生のみ）
講義室	共通教育 40 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Writing及びAcademic Speakingの演習を行う。 ・ Academic Writing: アカデミック・ライティングの基礎を学び、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。 ・ Academic Speaking: 設定したテーマに沿ったペアワークやグループワークなどを通して、自然な英語表現を用いたスピーキングの実践を行う。						
(5)授業のキーワード	Academic Writing Academic Speaking Academic Presentation Natural Expression						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス, Academic Discussion/Presentationとは 第2-3回 Unit 1 Waste and Recycling 第4-5回 Unit 2 Sustainable Cities 第6回 Unit 3 Energy 第7回 Posture, Eye Contact 第8回 Unit 4 Climate Change 第9回 Unit 5 Endangered Species 第10回 Unit 6 Tropical Rainforest 第11回 Unit 7 Tourism 第12回 Introduction to Paragraph Writing、トピック決定 第13回 原稿作成 第14回 Gestures、練習 第15回 最終プレゼンテーション、授業アンケート 第16回 総括						
(7)成績評価の方法	・ 予習内容チェック 15点 ・ 授業内アクティビティ 30点 ・ Vocabulary 15点 ・ 最終プレゼンテーション 40点 (Writing15点, 実施20点、分析5点)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ 指示された予習と復習をしっかりと行い、課題は必ず期限内に提出してください。 具体的な学習の仕方は、初回ガイダンスで説明します。						
(10)履修上の注意	本講座は、Academic English Phase I (B)(前期開講)において、その到達目標に達成できず単位認定に至らなかった「1年生」のみを対象としたクラスです。【優】を上限とした成績評価となります。 1. すべての活動に真摯に取り組みましょう。分からないところはそのままにせず、積極的に質問してください。 2. 遅刻3回で欠席1回とカウントします。30分を越える遅刻は欠席とみなします。 3. PC・タブレットを持参してください。						
(11)質問、相談への対応	まずはメールで連絡してください。 (kanemoto@shinshu-u.ac.jp)						
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・ 感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。						

(12)授業への出席	・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	教員が準備した教材を使用します
【参考書】	指定しない